



秋田わか杉っ子 学びの十か条

一 早ね早おき朝ごはんに家庭学習

規則正しい生活がスタートライン



二 学校の話題ではずむ一家団らん

笑いが脳を活性化



三 読書で拓く心と世界

めくるページ、広がる想像力



四 話して書いて伝え合う国語

国語力は学びの基本



五 難問・難題にも挑戦する算数・数学

あきらめずやりきることと能力アップ



六 新発見の連続、広がる総合

総合の時間は脳のビタミン



七 きまり、ルールは守ってあたりまえ

落ち着いた教室で高まる集中力



八 いつも気をつけている言葉づかい

相手意識でみがく活用力



九 説明は筋道立てて伝わるように

整理する工夫が脳のトレーニング



十 学んだことは生活で学校ですぐ活用

活用できて本当の生きる力



◆◆◆◆「秋田わか杉っ子 学びの十か条」作成の経緯、基本的な考え方◆◆◆◆

本県は、平成19年4月に実施された全国学力・学習状況調査の教科に関する調査において、小学校6年生では、国語、算数のA（知識）、B（活用）ともに全国1位、中学校3年生では、国語B（活用）が1位のほか、そのほかもすべて3位以内という好結果でした。また、児童生徒質問紙調査、学校質問紙調査からは、本県の児童生徒が、安定した家庭や地域に支えられながら、落ち着いて熱心に学習に取り組んでいる姿が明らかになりました。この結果は、児童生徒や保護者、教員等の学校関係者のみならず広く県民に、秋田のよさを再認識させ、大いに自信をもたせるものでありました。

そこで、この結果を県内の児童生徒や保護者、学校等に改めてアピールし、そのよさを伸ばすことでさらなる学力向上に資するとともに、秋田県の教育環境とそこでたくましく育っている児童生徒の姿を全国に発信することを考え、この「秋田わか杉っ子 学びの十か条」を作成しました。

この十か条は、主として、質問紙調査において、本県の児童生徒が全国平均を上回った項目を組み合わせて作成しております。例えば、「早ね早おき朝ごはんに家庭学習」は、「10時（中学生は11時）前に寝る」「7時前におきる」「朝食を毎日食べる」「家で学校の授業の復習（予習）をする」といった項目が、全国の平均値を上回っており、本県児童生徒が、規則正しい生活をしながら家庭学習にしっかりと取り組んでいる姿を反映したものとなっています。

この十か条は、平易な言葉を用いながらもわか杉っ子の学びの姿を想起できる表現となるように努めました。それぞれの学校の新たな「目指す子ども像」やPTA活動のスローガン等の参考として活用されることを期待しております。

また、この十か条を広く提示することにより、当たり前のことを根気強く積み重ねる大切さとその資質を身に付けている秋田の児童生徒の姿、熱心に取り組んでいる学校、それらを支えている家庭や地域のよさ等を発信できるものと考えております。

平成22年11月吉日

文部科学省初等中等教育局長 様
各都道府県教育委員会教育長 様
各市町村教育委員会教育長 様
各小・中学校長 様
各小・中学校PTA会長 様
関係 各 様位

特定非営利活動（NPO）法人
あきた・まなVIVA！創造塾
理事長 三浦 亮
秋田県教育委員会
教育委員長 北林 真知子
教育長 根岸 均

特定非営利活動（NPO）法人 あきた・まなVIVA！創造塾 設立事業

平成22年度学力向上県民フォーラムの御案内

時下、貴職におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、平成19年度から今年度まで4回実施された全国学力・学習状況調査において、本県の児童生徒は全国トップレベルの良好な成績を収め、県民に大きな喜びと自信を与えてくれました。

このたび、本県の将来を支える人材を育成するためには、これまでの行政の取組に加え民間企業等のノウハウを活用・連動することが重要であることから、特定非営利活動（NPO）法人あきた・まなVIVA！創造塾が設立され、その事業の第一弾として、昨年度に引き続き標記のフォーラムを開催することとなりました。

秋田県教育委員会では、本県教育の一層の充実・発展を図るためNPO法人と協賛し、小・中学校の授業公開と県内外から有識者等をお迎えしてパネルディスカッションを行い、児童生徒の学習・生活習慣の様子、学校の教育活動、県及び市町村の教育施設等の成果と課題について広く御指導や御助言を賜り、「教育立県あきた」の構築を目指すとともに、広く情報発信をしたいと考えております。

ご多用中のこととは存じますが、多数のご参加を賜りたくご案内申し上げます。

- 1 期 日 平成22年11月20日（土）
- 2 主 催 特定非営利活動（NPO）法人 あきた・まなVIVA！創造塾
秋田県仙北市・仙北市教育委員会
秋田県教育委員会
- 3 会 場 公開授業会場：仙北市立生保内小学校 仙北市立生保内中学校
フォーラム会場：たざわこ芸術村「わらび劇場」
- 4 申込方法 別紙「平成22年度学力向上県民フォーラム申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みくださるようお願いいたします。
なお、県内における教職員の参加申し込みについては、各教育事務所で設定する申込期限・方法に従って提出くださるよう、お願いいたします。
- 5 申込締切 平成22年11月15日（月）
- 6 問合せ先 フォーラムに関するお問い合わせは次までお願いします。

問い合わせ先

〒010-8580 秋田県秋田市山王三丁目1番1号
秋田県教育庁総務課 佐々木晃久
TEL 018-860-5112 FAX 018-860-5851

7 日 程

	受付	公開授業	移動・昼食	開会行事	パネルディスカッション	閉会行事
小	10:00 } 10:30	10:30 } 11:15			13:20 }	13:40 }
中	10:00 } 10:30	10:30 } 11:20		13:40	15:30	15:40

※ たざわこ芸術村で昼食を摂られる方は、ゆぼぼ（TEL 0187-44-3333）の施設を御利用いただきます。

8 公開授業

<仙北市立生保内小学校>

学 年	学級名	教 科 等
1	梅 組	学級活動
2	梅 組	道 徳
	桃 組	国 語
3	梅 組	国 語
	桃 組	理 科
4	梅 組	算 数
	桃 組	学級活動
5	梅 組	国 語
	桃 組	外国語活動
6	梅 組	社 会
	桃 組	道 徳
特別支援	松 組	生活単元学習

<仙北市立生保内中学校>

学 年	学級名	教 科 等
1	A 組	理 科
	B 組	数 学
2	A 組	国 語
	B 組	数 学
3	A 組	英 語
	B 組	音 楽

9 パネルディスカッションの参加者

コーディネーター

船木 保美 氏 株式会社秋田魁新報社 編集局報道センター長

パネリスト

阿部 昇 氏 秋田大学教育文化学部教授

牧野 行治 氏 福井県教育庁義務教育課長

矢ノ浦 勝之氏 小学館総合教育技術記者（秋田県式「当たり前」教師の育て方著者）

10 開催地

秋田県仙北市（※案内図の詳細は別紙）

11 その他

※ マイカーご利用以外の方に、生保内小・中学校からたざわこ芸術村わらび劇場までのシャトルバスを運行いたします。マイカーの方は、わらび劇場に駐車場をご用意致します。

（公開授業が終わり次第、会場から出発します。バス2台を、10分程度の時間差を付けて運行する予定ですが、ご利用人数での調整があります。）

※ 秋田県内からご参加の方は、内履きの持参にご協力ください。

※ 御案内、仙北市周辺地図、申込書は秋田県ホームページ「美の国あきたネット」

→ <http://www.pref.akita.lg.jp/kyosomu/> に掲載していますのでご活用ください。